

会員の皆様へ：ご意見をお寄せください
英文論文誌 RMB(Reproductive Medicine and Biology)
電子ジャーナル化について

拝啓 日頃より本会ならびに **Reproductive Medicine and Biology** 誌へのご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。

Reproductive Medicine and Biology (RMB) は、本会・日本受精着床学会・日本アンドロロジー学会の3学会で共同発行をいたしております英文誌であり、今年で発行14年目を迎えております。本誌は国内外を問わず生殖医学領域の論文を掲載する重要な役目をになう雑誌と考えております。

さて、昨今のインターネットの普及に伴って、国内外の著名な雑誌は急速に電子ジャーナルに移行しつつあります。このような電子化・Web 提供は時代の流れでもあり、会員サービス拡大の意味でも検討すべき時期にきていると考えております。電子ジャーナル化することにより、**RMB** への掲載決定から論文公開までに時間の短縮、インターネット上での **RMB** の検索頻度が高まること、**RMB** に動画やカラー画像データなどの付加的情報を入れやすくなる、印刷や紙資源、配送等にかかる経費を大幅に節約できること、紙媒体の保管スペースが削減できること等の多くのメリットがあります。一方で、目視による論文のチェックがない為、検索によってはフォローできない重要な論文を見逃したり、広告収入が見込めなくなるなどのデメリットも考えられます。しかし、これらの欠点も、メールでの **RMB** アラートやホームページの広告掲載の充実などによって補完が可能のように思われます。

つきましては、**RMB** 誌の電子ジャーナル化について、会員の皆様から意見を広く拝聴し、それに基づいて電子ジャーナル化の可能性を検討したいと考えております。なお、いただいたご意見を慎重に拝聴しながら、従来通り冊子体を希望する会員の先生には、オプションとして印刷サービスの導入も配慮検討したいと考えております。お忙しいところ誠に恐縮ですが、以下の手順に従ってご意見をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

<ご意見の宛先>

日本生殖医学会事務局あて電子メール(info@jsrm.or.jp)にて

件名を「意見 RMB 電子ジャーナル化について」

として内容をお送りください。記名無記名は問いません。

提出締切：平成27年7月31日(金)

<今後のスケジュール>

拝聴したご意見を提出締切後に取りまとめ、平成27年度第2回通常理事会にて審議のうえ、結論について日本生殖医学会雑誌第60巻4号(予定)にてご報告申し上げます。

以上
平成27年6月
一般社団法人日本生殖医学会
理事長 苛原 稔
編集担当理事 今井 裕